

あま市巡回バスのあり方を定める「確認項目及び評価項目」

あま市内の公共交通を確保するため「移動に困っている高齢者等の日常生活を支えることを目的」として、あま市巡回バスを定時定路線で試行運行しています。

1 指 標

あま市巡回バスのあり方を判断する指標として「確認項目」及び「評価項目」を設けます。

(1)確認項目

あま市巡回バスの運行目的の達成と持続可能な公共交通体系を確立するため、現状と変動を確認するとともに将来予測にも役立てるものとなります。

(2)評価項目

項目ごとに「基準値」を定め、判断の基準とします。「基準値」は、今回の地域公共交通会議にて設定いたします。

「基準値」は、あま市巡回バスのあり方を判断する上での基準となることから、実績値を基に定めます。そのため、実績値から大きく乖離した数値（目指すべき数値）は定めません。

「評価項目」の中でも、特に重要な項目であり、あま市巡回バスを運行するにあたり最低限満たすべき項目を「重点項目」として指定します。

- ・「地域公共交通施策に対する市民の理解」
- ・「1便当たり無料乗車券の利用者数（想定利用者）」

2 判 断

あま市巡回バスのあり方は、「確認項目」の「数値」の変動及び「評価項目」の「基準値」の達成状況を勘案し、総合的に判断してまいります。

「確認項目」の「数値」に大きな変動があり、将来予測を行った際にあま市の地域公共交通のあり方を見直す必要がある場合は、あま市巡回バスの運行目的の整理を行い、「重点項目」である「地域公共交通施策に対する市民の理解」及び「1便当たり無料乗車券の利用者数（想定利用者）」が「基準値」に満たない場合は、巡回バス以外の交通手段も含め検討を進めてまいります。

仮に、廃止と判断した場合であっても、利用者への周知及び他の代替手段を検討したうえで廃止といたします。

確認項目及び評価項目一覧（案）

確認項目		数 値 (R01 年度)	数 値 (H30 年度)	左記算出方法	備 考
想定利用者	高齢者数（65歳以上）		23,201人	住民基本台帳 ※年度末現在	年度別推移は、資料3別紙を参照。
	高齢者率		26.1%	65歳以上人口÷総人口 ※年度末現在	年度別推移は、資料3別紙を参照。
	無料乗車券発行枚数 （延べ発行枚数）		602枚 89枚 53枚	75歳以上 障がい者 ※年度末現在 運転免許証自主返納者	年度別推移は、資料3別紙を参照。
	運転免許証自主返納者数		252人	65歳以上	H29年:254人 H30年:252人
他の移動手段	福祉有償運送利用者数 （登録者数・利用者数）		4人・4人 2人・0人	地域人権ゆうあい会 ひとまち生活ネット津島	—
	移動援助サービス事業 （登録者数・利用者数）		12人・73人	社会福祉協議会（H29年10月開始）	—
運行事業費	収支率 みなし収支率		0.6% 5.1%	運賃収入÷運行経費（運行委託料+車借上料） みなし収入率とは、無料乗車対象者より運賃相当額 を徴収したと仮定し算出したもの。	一宮市:26.5%、45.2% 津島市:17.4% 稲沢市:17.4%、58.9% 清須市:11.0% 弥富市:5.3% みよし市:22.5%
	一人当たりの輸送費用		3,686円	運行経費（運行委託料+車借上料）÷利用者数	一宮市:548円、388円 津島市:513円 稲沢市:969円、295円 清須市:794円 弥富市:1,097円 みよし市:417円
	市民一人当たりの経費負担額		317円	運行経費（運行委託料+車借上料）÷人口（1/1現在）	一宮市:335円 津島市:491円 稲沢市:317円 清須市:804円 弥富市:1,992円 みよし市:1,886円
	歳出に占める運行事業費		0.09%	運行事業費÷歳出総額（普通会計）	一宮市:0.11% 津島市:0.16% 稲沢市:0.23% 清須市:0.22% 弥富市:0.55% みよし市:0.47%

評価項目		基準値 (案)	実績値 (参考)	実績値算出方法	備 考
公共交通	あま市巡回バスの認知度	80.0%	79.1%	H28年度アンケート結果	基準値は前回のアンケート結果を上回る80%とした。1%増加するには10人の増が概ね必要となる。
	地域公共交通施策に対する 市民の理解	55.0%	50.6%	H28年度アンケート結果	基準値は前回のアンケート結果を上回る55%とした。1%増加するには10人の増が概ね必要となる。
利用状況	1便当たり利用者数	4.4人 6.0人 1.9人	4.3人 5.9人 1.8人	北部巡回ルート 南部巡回ルート ※H30年度実績 東部巡回ルート	人口は増加傾向にあることから、基準値は実績値に0.1人を加算した数値とした。 各路線0.1人増加するには、北部:18人/年、南部:16人/年、東部:42人/年の増が概ね必要となる。 人口及び利用者等の年度別推移は、資料3別紙を参照。
	1便当たり無料乗車券の 利用者数	3.4人 5.4人 1.5人	3.4人 5.4人 1.5人	北部巡回ルート 南部巡回ルート ※H30年度実績 東部巡回ルート	高齢者数及び高齢化率に大きな変動が無く、無料乗車券の申請も大幅に増加していないことから基準値は、実績値と同様の数値とした。 各路線0.1人増加するには、北部:14人/年、南部:13人/年、東部:63人/年の増が概ね必要となる。 人口及び利用者等の年度別推移は、資料3別紙を参照。
	1日当たりの利用者数の平均成長率	0.13% -1.04%	0.13% -1.04%	運行開始時 ※H30年度平均 新ルート運行開始時	基準月は、運行開始時（H27年11月）、新ルート運行開始時（H29年11月）とし、平均成長率の年度平均を比較。利用実績の伸びとなるが過年度の実績がなく比較が困難なことから、基準値は、実績値と同様の数値とした。
	利用率	1.54%	1.4%	H28年度アンケート結果	H29年10月のルート変更により路線が拡がり、総運行距離が247.8km/日から269.2km/日となり約1.1倍となったことから、基準値は実績値の1.1倍の数値とした。
	市民一人当たりの利用回数	0.087回/年	0.086回/年	年度利用者数÷人口（1/1現在） ※H30年度実績	0.001回/年増加させるには、88人/年の増が概ね必要となる。1便当たりの利用者数の基準値と同程度とし、基準値は実績値に0.001回/年を加算した数値とした。 週3日の運行のため、利用回数は他自治体より少ない傾向となる。 一宮市:0.68回 津島市:0.96回 稲沢市:1.31回 清須市:1.01回 弥富市:1.82回 みよし市:4.53回